

TAKE FREE

八代の民俗芸能・祭りを知るならこの1枚!

PRESS

DEMON

2024

3

March
No.27

令和5年度 でんでん館の1年

笠鉾西王母水引幕

干拓地の民俗芸能～大鞘節(おざや名所)～

第12回 月イチ文化財講座

6月分会議室等利用について

亀蛇

今月の展示

— 亀蛇 —

3/10(日)~4/6(土)



去年の4月から始まった笠鉾スタンプリー、いよいよ亀蛇の出番よ。みんなスタンプは集まってる? 亀蛇は正式には「きだ」だけど、みんなは「ガメ」の方がいいわよね? ガメは、亀と蛇が合体した想像上の生き物で、北の方角を守護する「玄武」だってことはでんでんプレスの読者なら知ってるわね? だから北極星を神さまにした妙見さんがガメに乗ってやってきたという伝説が作られたのよね。

玄武は、後に発展して玄天上帝・真武大帝という神さまになったのよ。「玄武」という字には、「くろ」とか「北」という意味があるのよ。だから玄天上帝は黒い服を着ているの。まっ、難しい話は置いて、ガメが妙見祭の人気者ってことは誰もが認めるところ。展示中はガメとツーショット撮り放題よ。2階からもガメが見えるから、甲羅の模様もバッチリ見えるわ。ぜひ見に来てね。

笠鉾スタンプリ



亀蛇のスタンプもあるわ!



まつりちゃん

令和5年度

でんでん館の1年

Thank you for your cooperation.
I look forward to working with you again next year.

お祭りですんでん館は、令和3年7月の開館から約2年半が経過しました。
開館当初は、新型コロナウイルス感染症が流行した影響で講座やイベントが開催できず、思うように活動ができない状況でしたが、最近、ようやく普段どおりに活動ができる環境になってきたと感じています。当館がクルーズ船寄港に伴うシャトルバスの発着場、くま川祭りの会場となるなど、周辺もにぎやかになってきています。



八代妙見祭「お祭り体感シアター」映像撮影

今年度は、妙見祭や夏と冬の日体験DAYなど、大きなイベントも無事に開催することができました。
妙見祭では、当館「お祭り体感シアター」で上映している妙見祭の映像をリニューアルすべく、行列や出し物などの映像撮影を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響や、昨年度の妙見祭が雨天であったことから、約2年越しの本番でした。当日は晴天に恵まれ、ご協力いただいた多くの皆様のおかげで、大変よい映像を撮影することができました。この映像を編集し、4月からは新しい映像を上映します。どうぞご期待ください。
また、1月には、八代市民俗文化財保存連合会と共に「さしよりきてみらんね 冬の日体験」

★
当館では、これからもたくさんのお客様にご来館いただけるよう、妙見祭の笠鉦や水引幕、民俗芸能に関する展示をはじめ、各種講座や民俗芸能体験などのイベントを開催していきます。楽しく民俗芸能に親しんでいただければ幸いです。来年度も、ぜひお祭りですんでん館にお越しください。



1月21日冬の日体験DAY 芝口大鞆節体験

★ 令和5年度 水引幕・絵巻 展示

- 4月 笠鉦猩々水引幕「黒羅紗地酒瓶杯杓模様繡水引幕」
- 5月 笠鉦蘇鉄水引幕「黒紋縹子地巖に波瑞亀模様繡水引幕」新幕
- 6月 笠鉦本蝶蕪水引幕「黒天鷲絨地海原群飛蝶模様繡水引幕」
- 7月 笠鉦菊慈童水引幕「黒縹子地菊流水模様繡水引幕」新幕初公開



- 8月 笠鉦猩々水引幕「緋羅紗地八仙人模様繡水引幕」
- 9月 笠鉦蜜柑水引幕「金襴地海原に飛鶴模様繡水引幕」
- 10月 妙見宮祭礼絵巻①（白描絵巻）宮司～水王・風王・火王
- 11月 妙見宮祭礼絵巻②（白描絵巻）笠鉦本蝶蕪～笠鉦迦陵頻伽
- 12月 妙見宮祭礼絵巻③（白描絵巻）獅子～木馬
- 1月 笠鉦松水引幕「黒天鷲絨地向い双龍模様繡水引幕」
- 2月 笠鉦迦陵頻伽水引幕「黒天鷲絨地岩竹に双虎模様繡水引幕」
- 3月 笠鉦西王母水引幕「黒縹子地丸に九曜紋模様繡水引幕」



7月15日 久連子古代踊り公演&体験



8月1日 中九州短期大学留学生のみなさん
植柳盆踊りを体験！

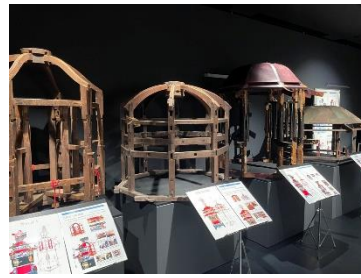
★令和5年度 展示室1 展示

4月2日～5月6日	笠鉾菊慈童
5月14日～6月10日	笠鉾蘇鉄
6月18日～7月16日	笠鉾本蝶蕪
7月23日～8月19日	笠鉾猩々
8月27日～9月23日	笠鉾蜜柑
10月1日～10月28日	笠鉾西王母
11月5日～12月2日	笠鉾恵比須
12月3日～12月23日	笠鉾本蝶蕪実物大模型
12月24日～1月27日	笠鉾松
2月4日～3月2日	笠鉾迦陵頻伽
3月10日～4月6日	亀蛇



★令和5年度 お宝ギャラリー 展示

4月～6月	妙見祭の魅力紹介～笠鉾猩々大解剖!～
7月～9月	妙見祭の魅力紹介～不思議な仙人の世界～
10月～12月	妙見祭の魅力紹介～骨組大集合～
1月～3月	民俗芸能の魅力紹介～干拓地の民俗芸能～



★令和5年度 開催イベント

- 4月～ 笠鉾スタンプラリー
- 6月 熊本県立装飾古墳館移動講座「古代の組紐づくりに挑戦」
- 7月 久連子古代踊公演と体験
- 8月 植柳盆踊り体験講座
夏の一日体験 DAY・でんでんマルシェ (同時開催)
・坂本町木々子の七夕綱づくり ・獅子舞体験 ・でんでんクイズラリー&ガラポン抽選会
・木馬体験 ・子ども工作講座「ゆらゆらゆれる妙見祭のモビール」(熊本高等専門学校八代キャンパス)
- 9月 無料開館の日 (秋分の日)
- 10月 とび出す絵本づくり～亀蛇～
- 1月 冬の一日体験 DAY・ぽかぽかマルシェ (主催: 八代市民俗文化財保存連合会)
・八代妙見祭の子供獅子舞演舞 ・女相撲公演 ・八代の民俗芸能写真展 ・芝口大鞘節公演と体験
・八代妙見祭の花奴披露と体験 ・とび出す絵本づくり (八代新地大鞘節・鮎婦地区雨乞い踊り)
- 3月 無料開館の日 (春分の日)



6月 古代の組紐づくりに挑戦



8月 七夕綱づくり



8月 木馬体験



1月 八代妙見祭の花奴披露

★令和5年度 月イチ文化財講座

- 4月 ①「深掘り妙見祭 笠鉾猩々のヒミツに迫る!」講師: 当館学芸員 早瀬輝美
- 5月 ②「国指定名勝 不知火及び水島」講師: 文化振興課 課長 米崎寿一
- 6月 ③「発掘! 麦島城」講師: 文化振興課 学芸員 山内淳司
- 7月 ④「深掘り妙見祭 ささまざまな笠鉾の飾り
-不思議な仙人の世界-」講師: 当館学芸員 早瀬輝美
- 8月 ⑤「知っているようで知らない盆の行事と盆踊り」講師: 当館学芸員 北原美希
- 9月 ⑥「通潤橋をかけた日本一の八代石工たち」講師: 東陽石匠館 館長 上塚尚孝氏
- 10月 ⑦「深掘り妙見祭 ここがすごい! 笠鉾の骨組」講師: 当館学芸員 早瀬輝美
- 11月 ⑧「深掘り妙見祭 妙見宮祭礼絵巻を読み解く」講師: 当館学芸員 早瀬輝美
- 12月 ⑨「弥生時代の八代～土器にドキドキの60分～」講師: 文化振興課 学芸員 西山由美子
- 1月 ⑩「干拓地の芸能は魅力がいっぱい」講師: 当館学芸員 北原美希
- 2月 ⑪ 特別講演会「新聞に見る八代の民俗芸能」講師: 熊本大学名誉教授 安田宗生氏
民俗芸能公演会「久連子古代踊」出演: 久連子古代踊り保存会
- 3月 ⑫「縄文時代の八代～縄文に触れてみよう～」講師: 文化振興課 学芸員 村田仁志



石匠館 上塚館長による講座



Thank you for your cooperation
and to working with you again
Center for Folk Perform

2月10日 特別講演会&民俗芸能公演会

2月の月イチ文化財講座は、熊本大学名誉教授の安田宗生先生をお迎えして、特別講演会を開催したぞ。「新聞に見る八代の民俗芸能」を演題に、雨乞い踊り、盆踊り、女相撲など、さまざまな民俗芸能について、新聞資料をもとに説明していただいたんじゃ。

講演会の後は、「久連子古代踊」の披露もあって、盛りだくさんじゃった。久連子古代踊り保存会のみなさんから、踊りの意味についても説明があって、非常に勉強になったの～。

安田先生、久連子古代踊り保存会のみなさん、参加してくれたみなさん、ありがとうございます。



お祭り博士

今月の水引幕 笠鉾西王母水引幕 3/5～4/7

黒緇子地九曜紋模様繡水引幕



笠鉾西王母の水引幕はとってもシンプルなんだ。だけど近くで見ると金糸を隙間なく渦巻き状に細い糸で留めてあって、見ごたえがあるよ。丸が九つある模様は「九曜紋」というんだ。八代神社の神紋(マーク)だよ。この幕を笠鉾に付けると、正面には模様がないので変に思うかもしれないけど、笠鉾は行列しているところを横から見るでしょ？だから横から見るとところに模様があるように考えられているんだよ。



てんでん丸

2階お宝ギャラリー展示案内

干拓地の民俗芸能～大鞆節(おざや名所)～

違いがわかるとより楽しくなる「大鞆節/おざや名所」!

大鞆節は、江戸時代から始まった干拓工事の労働者たちが過酷な労働で作業する中で他の人と息を合わせる目的や、少しでも楽しくなるように歌い始めた労働唄(民謡)の大鞆節に、当時の工事の動きを表現した踊りをつけて踊る民俗芸能です。

現在、市内では、3団体によって傳承されています。一見同じ踊りのように見えますが、それぞれで音程やテンポ、使用している楽器や衣装などに違いがあることがわかります。今回の展示では、その違いのいくつかを紹介しています。



写真の衣装は、八代新地大鞆節の衣装。左が女役、右が男役です。5日から芝口大鞆節の衣装に変わりますので、違いもお楽しみください。

また、現在展示している八代新地大鞆節保存会様の衣装は、3月3日(日)までの展示です。3月5日(火)からは、芝口大鞆節保存会様の衣装を展示します。どちらの衣装も実際に使用されているものです。

そして、展示室内では、干拓地の各民俗芸能のダイジェスト映像を準備しています。それぞれの大鞆節の違いとその魅力をご覧ください。



イベント情報・おしらせ

月イチ文化財講座 ⑫

とき 3月9日(土) 10時～11時

※開場 9時30分

ところ お祭りてんでん館 会議室

内容 第12回目

「縄文時代の八代」縄文に触れてみよう」

縄文時代の八代について概要を解説した後、実際に発掘された土器を使って拓本講座を行います。

※「拓本」は、土器などに刻まれた模様等の上に紙をあてて、その上から墨をたたいて模様等を写し取ることです。

講師 文化振興課 学芸員 村田仁志

定員 先着20人 ※事前申し込み不要

6月分の会議室等利用について

令和6年6月分の予約は、3月1日から申請することができますが、会議室使用料のお支払いは、4月1日より可能となります。ご不便をおかけしますが、ご了承ください。

令和6年6月分の会議室等利用

申請開始 3月1日 午前9時から

使用料 4月1日からお支払い可能

*八代市公共施設予約システムでは、予約及び空き状況の確認ができます。

予約システム



会議室詳細



3月20日は、展示棟 無料開館の日!

お祭りてんでん館(八代市民俗伝統芸能伝承館) 〒866-0863 熊本県八代市西松江城町1-47
TEL 0965-37-8737 FAX 0965-37-8738 MAIL bunka@city.yatsushiro.lg.jp



てんでんHP



Instagram



会議室予約